

# 令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

## ワークショップ実施計画書

制作団体名	特定非営利活動法人アートイン Asibina
公演団体名	特定非営利活動法人アートイン Asibina

内容
<p>◇ステップ 1 活動内容の説明、言葉と身体ウォームアップ、チーム分け</p> <p>◇ステップ 2 2つのグループ活動 ★パフォーマンスチーム:オノマトペ・ムーブメントを活用した「のはらものがたり」のドラマ創作 ★音創りチーム:ストリンググラフィ製作とイメージ音の創作</p> <p>◇ステップ3 グループ交流・まとめ</p> <p>◇ ※1 クラス基本単位。指導は本作の演出家・俳優・WS 講師にて行います。ワークショップ参加者は、本番当日に上演活動に参加、成果を発表し、上演活動を体験します。</p>

タイムスケジュール（標準）
<p>◆ワークショップの時間は授業時間2時間(2 コマ)を基本とします。午前・午後どちらでも可。各実施校とご相談の上で決定させていただきます。</p> <p>◆ワークショップ当日は上記他、担当や担任の先生方との打ち合わせ(10~15分ほど)のお時間を頂きたいお願い申し上げます。</p> <p>◆準備のため、ワークショップ実施会場は授業開始 30 分前より使用させていただきます。</p>

派遣者数
5名

学校における事前指導
<p>ワークショップ実施日を前に、児童・生徒宛にお手紙をお出しします。「世界にひとつのミニドラマを創りましょう。そのためにどうぞ、周りの自然の風景や生き物をよく見ておいて下さい。」という内容です。</p> <p>担任の先生からご紹介いただき、また教室に掲示するなどにより、ワークショップ・創作・共演への期待や関心を深めていただければと思います。</p>

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	特定非営利活動法人アートイン Asibina
公演団体名	特定非営利活動法人アートイン Asibina

演目
<p>「ねこはしる」</p> <p>原作:工藤直子 構成演出:西田豊子 音楽:佐藤容子 振付:神崎由布子 美術:西山三郎 ストリングラフィ指導・協力:水嶋一江/スタジオ・イヴ</p>

派遣者数
5名

タイムスケジュール（標準）
<p>◆開演 13:30 の場合の例（基本は午後公演。午前公演の場合、舞台設営は前日になります。）</p> <p>当日 7:30～10:00 舞台設営（所要時間 約2時間半）</p> <p>3,4時限目 児童・生徒とのリハーサル</p> <p>開場 13:15 開演 13:30 終演 14:45（75分）、その後撤収1時間ほど</p>

実施校への協力依頼人員
<p>◆特にありませんが、可能であれば終演後の客席の片付けなどお手伝いいただけるとありがたいです。</p>

## 演目解説

### 【あらすじと作品について】

雪深い山村に生まれた、のろまな子ねこ「ラン」は、池の「魚」と友だちになり、自然界の沢山の生命に見守られ、逞しく成長していきます。しかし、満月の夜、兄弟たちとの「魚とり競争」が行なわれ、ついに親友の魚と闘うことに。

「いのちとは?」「出会いとは?」「友情とは?」「死とは?」...?

子どもたちは観劇を通じ、「もし自分がランや魚だったら...」と、言葉や知識だけでは容易に解けないこの根源的な問いに自分自身を重ね合わせ、真剣に、また深い共感を込めて向き合ってくれます。それは子ども達の生涯を通じ、「生きる」尊さと「つながる命」を示唆する心の財産となるに違いないと、1400回を超える上演を通じて確信しています。

### 【構成】

のろまな子ねこと一人ぼっちの魚の希有な友情と成長を、3人の俳優が観客に直接語りかけながら、ストーリーテリングとドラマシーン、歌、生演奏、ムーブメント等、多彩な表現方法を駆使。20ものキャラクターを演じ分け、観客の想像力をかき立て共感を築く構成です。原作は、詩人人工藤直子さんの、易しい言葉で描かれた美しく感動的な詩物語です。

### 【みどころなど】

俳優たちの、感情豊かな音声による歌と語りや、いきものたちの命のリズムを伝え想像力をかき立てる身体表現。絹糸による創作楽器ストリングラフィやオカリナなどの生演奏。自然界の色彩をシンボリックに伝える舞台美術などなど。詩と音楽と演劇が一体となり、緻密で完成度の高い舞台として親しまれ続けて来た作品です。

## 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

### 【共演シーンについて】

- 1) ワークショップに参加した児童生徒が、オープニングで俳優たちと共に、創作ミニドラマ「のはらものがたり」を上演。そのことにより、本編公演「ねこはしる」の背景「のはら」が、体育館に現れる趣向です。
- 2) その学校オリジナルの「のはらものがたり」は、観客席の児童・生徒のイメージも豊かに揺さぶって、観劇への素晴らしい導入へ。
- 3) 共演する児童生徒の参加方法は以下のようになります。
  - ◆パフォーマンスチーム◆ 声と身体で、のはらの生き物のドラマを表現する
  - ◆音創りチーム◆ ストリングラフィ\*により、のはらの生き物のドラマの「音」を表現する

\*ストリングラフィとは、作曲家水嶋氏考案の絹糸と紙コップで作る弦楽器。劇中で使用しています。

- ・創作ミニドラマ「のはらものがたり」は、ワークショップ後構成台本を作成し、事前の練習は不要。当日のリハーサルで完成させます。
- ・共演した児童生徒は、オープニング後そのまま客席に戻り、観劇に参加します。

## 児童生徒とのふれあい

- 1、体育館入場時から観客席への誘導を、児童生徒とコミュニケーションをとりながら、俳優・スタッフが行います。
- 2、公演の冒頭は、俳優が観客に語りかけ、自然音のオノマトペを「あてっこ」するかけあいのようなスタイルで始まります。
- 3、終演後のカーテンコール時、学校からのご要望があれば、何人かに楽器(ストリングラフィ)を触っていただいたり、感想や質問のコーナーなどの時間をもっていただくことも可能です。
- 4、その他何かご要望がありましたらご相談ください。